

各位

会社名 FDK株式会社
 代表者名 代表取締役社長 長野 良
 (コード番号：6955、東証第2部)
 問合せ先 コーポレート本部長代理 渡辺 伸之
 (TEL. 03-5715-7400)

通期連結業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2021年4月27日に公表した2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の通期連結業績予想を修正しました。

また、2022年3月期において、特別損失を計上する見通しとなりましたので、併せて下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	60,000	1,900	1,500	1,600	46.37
今回修正予想(B)	60,000	1,900	1,800	600	17.39
増減額(B-A)	—	—	300	△1,000	
増減率(%)	—	—	20.0	△62.5	
(ご参考)前期実績(2021年3月期)	61,543	1,743	1,274	2,009	58.24

2. 修正の理由

2021年4月27日に公表しました業績見直しにおける想定に対し、当第4四半期連結会計期間に入り部品調達難や原材料価格の高騰、物流混乱影響もありましたが、電池事業でリチウム電池や設備関連ビジネス、電子事業で各種モジュールが堅調に推移したことにより売上高および営業利益は想定どおりの見込みです。経常利益は、為替レートが円安に推移したことから為替差損の減少などにより増加する見込みです。一方で、次項に記載のとおり「固定資産の減損に係る会計基準」にもとづき、電池事業のアルカリ乾電池にかかわる固定資産の減損損失として特別損失を計上する見込みです。

つきましては、2021年4月27日に公表しました2022年3月期連結業績予想数値を上記のとおり修正いたします。

3. 特別損失の内容

「固定資産の減損に係る会計基準」にもとづき、当社電池事業のアルカリ乾電池にかかわる固定資産について、将来の回収可能性を検討した結果、当第4四半期連結会計期間において帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として約12億円を特別損失に計上する見込みです。

(注意事項)

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、今後様々な要因により、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

以上